

卓球競技

〈運営役員〉

部長	前田 圭一		
総務	竹内 千翔 (高知)		
総務員	井上 律 (愛媛)	蓮井 優 (香川)	仁木 賢治 (徳島)
	清岡 直樹	北岡 利之	落合 正弥
進行	宇賀 友哉	梶谷 祐介	村上 美宮
	青野 愁斗	谷 登輝	
受付	和田 紗季	堀内 里奈	寺口久美子
記録	阿波谷博史	中越 由美	松本 晶子
	藤田虎太郎		
式典	平上 佳世	谷内 知佐	文野 甫美
会場	森國 慎吾	小原 卓	中井 貴之
救護	益井 奈甫 (5日)	濱口 彩乃 (6日)	

〈競技役員〉

審判長	野村 悟		
副審判長	瀬戸 明利	大塚 明人	
審判主任	小野 泰佑		
審判	中山 任鋭	坂井 孝吏	今村 友哉
	梅下 麗	窪田 伸介	古川 雄基
	野末 学志	宮地 峰司	公文 啓介
	渡辺 尚輝	国沢 裕美	木場 亮佑
	明神 一雅	矢野慶志郎	和田 伸平
	小野 智嗣	黒岩 祥多	片岡 太郎 (5日)

(6日：高知大学卓球部員 16名)

1 参加規定

(1) 団体戦

各県男女3チームとする。(選手8名以内, 監督1名で編成)

※ 必要最低選手数 6名(全校生徒が卓球部の場合は4名)

※ 監督の他にアドバイザーとして, 学校においては出場校の教職員(部活動指導員含む)または校長の承認を得た外部指導者1名のベンチ入りを認める。地域スポーツ団体等(地域クラブ活動)においては, 責任ある代表者・指導者であること。

(2) 個人戦

各県男女上位10名とする。

※ アドバイザーとして, 選手1名につき1名のベンチ入りを認める。但し, 学校においては校長, 教職員, 生徒, 校長の承認を得た外部指導者のいずれかとする。地域スポーツ団体等(地域クラブ活動)においては, 責任ある代表者・指導者または所属の中学生であること。

2 競技規則

(1) 現行の日本卓球協会が制定したルールによる。

(2) 試合球は40mm, ホワイトボール(硬式認定球)とする。

(3) ユニフォームは, JTAA(日本卓球協会)のマークの入っている公認ユニフォームを着用する。

(4) ゼッケン

① 出場選手は, ユニフォームの背部に, 白布に選手名(姓)・県名・学校名を記入したゼッケンを必ずつけて出場する。

ただし, 同姓の場合は名を1字だけ付け加える。

② ゼッケンは, 日本卓球協会交付のものでもよい。

(5) 団体戦の選手, 監督, アドバイザーに変更がある場合は, 第1日目の受付終了まで, 個人戦の監督・アドバイザーに変更がある場合は, 2日目の受付終了までに「変更届」を提出すること。

25cm	
選手名(姓)	12.5cm
県名	4cm
学校名	6cm

3 競技方法

(1) 試合日程

<第1日目>

- ① 11:30~ 団体戦予選リーグ(5番まで)
- ② 終了後 団体戦決勝トーナメント1回戦(3点先取)

<第2日目>

- ① 9:00~ 団体戦決勝トーナメント準決勝・決勝及び順位決定戦(3点先取)
- ② 12:00~ 個人戦

(2) 団体戦

- ① 3チームずつのW組, X組, Y組, Z組の4リーグに分けて予選を行う。
- ② 各リーグに同県チームが入らないように抽選し, 試合順序は次のとおりとする

	(I)	(II)	(III)
W組	A 1	B 2	C 3
X組	B 1	C 2	D 3
Y組	C 1	D 2	A 3
Z組	D 1	A 2	B 3

○試合順序

第1試合 (II)-(III)

第2試合 (I)-(II)・(III)の敗者

第3試合 (I)-(II)・(III)の勝者

- ③ 予選リーグ終了後, 各リーグの1位・2位チームは, 決勝トーナメントへ進出する。

(1日目は, 1回戦まで行う。)

(ア) 各リーグの1位チームから抽選する。

※ 勝ち上がりの多い県から抽選する。(同数の場合はジャンケン)

※ 同県のチームは, 左右に分ける

(イ) 各リーグの2位チームは, 次のことに考慮して抽選する。

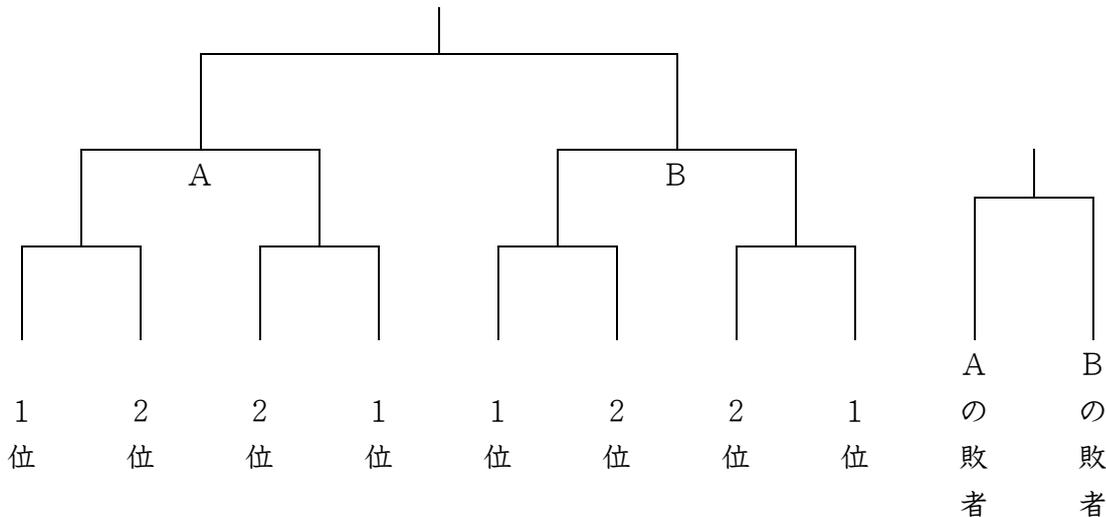
※ 1回戦での同県対戦は避ける。

※ 1回戦での同リーグ対戦は避ける。

- ④ 2日目は, 決勝トーナメント準決勝より始め, 決勝及び順位決定戦を行う。

<決勝トーナメント>

<順位決定戦>



- ⑤ 4シングルス・1ダブルスで, 3番目にダブルスをおく。

⑥ 予選リーグはすべて5番まで行い, 決勝トーナメント・順位決定戦の試合は3点先取法とする。

- ⑦ シングルスとダブルスは重複できない。

(3) 個人戦

シングルスのみとし, トーナメント方式による。